

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	幼児と造形表現				
担当者氏名	笠川 武史				
授業方法	講義	単位・必修	2・選択必修	開講年次・開講期	1年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-2 豊かな人間性の醸成 ○ 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

・保育の内容を理解し、幼児の造形遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を習得する。
 ・制作を通して、表現活動に係る教材の活用および作成と、保育の環境構成や具体的展開のために技術を習得し、その意味や意義を理解する。

《テキスト》

・「造形表現」青踏社

《参考図書》

適宜、資料を配布する。

《授業の到達目標》

・幼児の表現する姿や、その発達を理解する。
 ・幼児の造形表現活動を展開するために、様々な表現の知識や技術を身につける。
 ・創造的な造形表現活動を通して、自らの表現力を向上させ、表現の楽しさや面白さを実感する。

《授業時間外学習》

・日頃から幼児理解につとめ、造形・色彩分野に興味や関心を持っておく。
 ・作品制作については毎回の授業がつながるように、振り返りと次回に向けての準備と工夫を心掛ける。

《成績評価の方法》

・平常点(受講態度など) 20%
 ・毎回の学習内容のまとめやシート、実践作品の内容 50%
 ・最終課題(保育指導計画発表、レポート)の内容 30%

《備考(教員経験の有無)》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	造形表現と造形活動のねらいと意義に関する基本的理解
2	事例研究	幼児の描画活動の実践例
3	造形遊び①	素材・用具の研究
4	造形遊び②	素材・用具からの展開
5	造形遊び③	素材・用具の開発
6	絵をかく①	技法遊び 基礎
7	絵をかく②	技法遊び 応用
8	絵をかく③	イメージ展開の描画 制作
9	幼児理解(情報機器を使用して)	幼児の造形表現での発達段階
10	立体アートをつくる①	自然物を使って 基礎
11	立体アートをつくる②	自然物を使って 応用
12	幼児理解を踏まえた表現活動(1)	自由制作① 保育の計画
13	幼児理解を踏まえた表現活動(2)	自由制作② 制作
14	幼児理解を踏まえた表現活動(3)	自由制作③ 保育指導計画発表
15	まとめ	授業の振り返りとまとめレポート作成